



2025-26年度国際ロータリー会長のメッセージ 「よいことのために手を取りあおう」

- 創 立 1964年3月2日      ■例会日 毎・金曜日12時30分      ■例会場 オークラ千葉ホテル
- 会 長 今井 太志              ■幹 事 常世 田正弘              ■会報委員長 赤峰 加功平
- 事務局 〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階 (☎043-245-3204)

2025-26年度

### 第2930回

2026年4月24日(金) 点鐘12:30 (曇り)

- ◆ロータリーソング『それでこそロータリー』
- ◆四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～
  1. 真実か どうか
  2. みんなに公平か
  3. 好意と友情を深めるか
  4. みんなのためになるか どうか

#### ◆お客様紹介

・本日のゲストスピーカー  
千葉市 市民局 局長 市倉 秀子様

#### ◆会長報告

今井 太志会長

皆様こんにちは。  
本日は、千葉市・市民局・局長の市倉様に卓話をお願いしております。楽しみにしております。



千葉市民会館といえば、私が幼少期の頃、ピアノの発表会があったり、小学生の時には、「もんだ&ブラザーズ」のコンサートで私のカラオケの持ち歌「ダンシングオールナイト」を生で聴けたのも思い出です。

先週、銀座和光で人間国宝の方々の作品を鑑賞し、工芸品を購入できるという機会に初めて参加しました。私は茶道を嗜んでおりまして、そこに気に入った茶器がありまして、20～30万円で購入できるかなと思っていましたら、なんと480万円。諦めました。また、蒔絵作家の方が尺八に描いていたのは、竹ではなくステンレスでした。行く先々の気候で音が代わるとのことです。歴史の重みを感じるこの頃です。

#### ◆出席報告(会員数59名)

出席者数	欠席者数	ビジター	4/10 修正出席率
38名	21名	1名	77.59%

#### ◆ニコニコボックス報告

##### ○今井 太志会長・常世田 正弘幹事

4月4回目の例会を迎え、環境月間の取り組みもいよいよ佳境に入っております。4月29日の田植えも間近に控え、自然と触れ合う機会を皆様とともに楽しみにしております。

また、会員増強も1名の強力な入会希望者がおられますので、目標まで実質あと2名となりました。

ここまでの皆様のお力添えに、心より感謝申し上げますとともに最後の一押しを是非皆様と実現してまいりたいと思います。引き続き、どうぞよろしくお願い致します。

いつも本当に有難うございます。

##### ○向後 保雄会員

今年度の卓話者紹介も本日が最後です。本日は、市民局長の市倉秀子さんに新たな市民会館についてお話しさせていただきます。現在の市民会館は、開府850年の時に建設されたと聞いておりますので、50年が経っております。

市民に愛される市民会館の建設を願うばかりです。

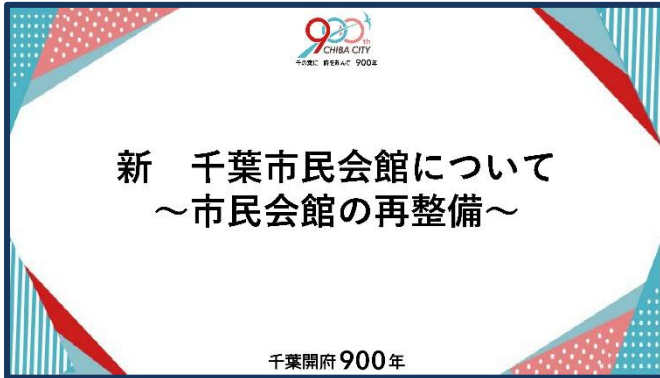
##### ○廻 辰一郎会員

任期はまだ終わっておりませんが、先日の財団補助金審査会で、地区奉仕委員長としての任務を終了することが出来ました。時田ガバナーを支えるため、クラブを代表して地区へ出向した2年間でしたが、酒井副委員長はじめ、素晴らしいメンバーに恵まれ、何とか務めることが出来ました。クラブの皆様のご協力に対し、深く感謝いたします。有難うございました。

本日のニコニコボックス	6,000円	累計	582,995円
-------------	--------	----	----------

# ◆◆◆◆◆ 本日の卓話 ◆◆◆◆◆

演 題⇒『新・市民会館について』  
卓話者⇒ 千葉市 市民局 局長 市倉 秀子様



## 1 市民会館の現状

(1) 設立等  
昭和48年4月開館 (旧千葉駅前周辺の振興及び文化的施設充実を目的)  
大ホール 1,001席  
小ホール 316席  
会議室 9室  
主な用途 興行、講演会、各種市民活動等

【指定管理者】  
団 体：(公財)千葉市文化振興財団  
設 立：昭和48年2月  
指定期間：令和8～12年度まで

## 1 市民会館の現状

(2) 現施設の課題  
ア 舞台設備の老朽化等  
音響卓、照明等は未更新、生産終了により修繕も対応困難  
イ 現代のニーズとのアンマッチ  
親子室無し、座席間隔が狭い、和式トイレ 等  
※ 耐震補強工事 (平成13～14年)、吊り天井工事 (平成27年) などを実施しており、当面の運営に支障はない

施設老朽化等への対応に合わせ、市民が多彩な文化芸術に触れるとともに、自身が発表できる機会を提供するため、市民会館を 千葉市の文化芸術の中心施設として再整備

## 2 検討経緯

令和3年11月 「千葉市民会館再整備に係る基本計画」策定  
令和4年 4月 「JR東日本千葉支社跡地における千葉市民会館との一体整備に関する基本協定書」締結  
令和5年 9月 JR東日本から、建築費の高騰等により、計画の見直しや新たな配棟案の提案があり、市として、市有地での整備を含め、整備費の再精査と立地の利便性等の総合的な検討を開始  
令和7年 6月 再検討の結果、JR千葉支社跡地で単独棟での整備とする方針を、市議会定例会にて表明  
令和8年 1月～現基本計画の修正作業を開始

## 2 検討経緯

【整備予定地】  
約700m  
JR千葉駅  
整備予定地 (JR千葉支社跡地)  
現市民会館

## 2 検討経緯

(1) 計画の見直しについて  
・令和4年度に締結した「JR東日本千葉支社跡地における千葉市民会館との一体整備に関する基本協定書」に基づき、JR整備の複合ビル内に市民会館を整備する形で協議実施  
・令和5年度に建築費の高騰等を理由とした複合ビル計画の見直しにより、別棟とする案がJRから示されたことから、本市として、改めて整備場所等を比較検証  
・総合的に勘案した結果、令和7年6月にJR千葉支社跡地で単独棟での整備を行っていくことを表明

## 2 検討経緯

(2) JR千葉支社跡地活用・単独棟としたポイント  
・JR千葉駅前立地していることから、駅からのアクセスなど利用者の利便性が高く、周辺商業機能も充実しており、周遊・滞在活動の質の向上による千葉都心の活性化に寄与することを想定  
・市民会館単独での整備は、当初の複合ビルでの計画と比べ、文化施設としての使いやすさや搬入面でも優位であり、市民の文化芸術活動の発表の場、質の高い芸術公演が鑑賞できる場としてふさわしい機能向上が図られることを見込む

## 3 現在の進捗状況

(1) 基本計画の修正 (令和8年1月～)  
・令和3年11月に策定した「千葉市民会館再整備における基本計画」では、JRが建設する複合ビルの一部に市民会館を整備することを前提としていたが、単独棟での整備となったことから、同計画の修正を実施  
(2) 修正基本計画の主な内容  
・諸室構成の具体化、概算工事費の精査、整備手法、運営方法やスケジュールなどの整理・検討  
・上記検討等の中で、市民アンケート、利用者へのヒアリング、事業者サウンディング等を実施

## 4 整備の方向性



### (1) 千葉駅周辺の活性化

#### ランドデザイン

#### 【東エリア】

千葉駅周辺における業務・商業の集積地で、特色ある商店街や、歴史・文化・観光資源を備えたエリア

#### 【西エリア】

千葉駅開業、西口地区再開発事業等により、回遊性の向上、生江支援機能の充実が図られた。臨海部への玄関口となるエリア

#### 【北エリア】

公共施設等が充実した閑静で住みよい住環境と、駅にほど近く、四季の自然や水辺とのふれあい等の観光要素を持つ総合公園を備えたエリア



【先行整備プログラム】

- ① 西銀座周辺再開発
- ② 中央公園・通町公園連絡強化
- ③ J R千葉支社跡地周辺整備
- ④ 千葉公園関連整備

8

## 4 整備の方向性



### (5) 新市民会館における興行について

- 具体的な興行内容は今後の検討事項となるが、市民会館は本市の文化芸術の中核的施設として、多くの市民が良質な文化芸術に触れるとともに、主体的な活動や発表の場となることから、市民の皆様にとって利用しやすく、愛される施設となることが重要



12

## 4 整備の方向性



### (2) 千葉駅周辺のまちづくり

J R千葉支社跡地への市民会館整備は、千葉駅周辺の活性化ランドデザインにおけるまちづくりの整備の方向性に複合的に寄与

#### 駅周辺共通：多様な魅力あるまちづくり

- 歴史、文化、公共施設などの連携による回遊性の強化
- 新たな回遊拠点の創出により、駅周辺の活性化に寄与

#### 駅前業務・商業コア

- 駅ビルから人の流れを引き込み、恒常的な賑わいを創出
- 公演事業の充実による市内外からの観覧者の増加が見込める
- 市民会館を誘因とした、新たな賑わいが生まれ、商業施設など他の施設への新たな人の流れを作る

9

## 4 整備の方向性



### (6) まとめ

整備内容等の詳細は引き続きJ R東日本と協議していくが、本市が当該地で市民会館を整備することを判断した「本市の文化芸術振興への寄与」や「周辺経済の活性化」などの効果が更に高められるよう、相互に丁寧に協議を進めていく

13

## 4 整備の方向性



### (3) 新市民会館の機能①

- J R千葉支社跡地は、県内鉄道交通の要衝、市内各所からもアクセスしやすく、1,500席規模の大ホール整備により、興行誘致による良質な鑑賞機会の充実を目指す

#### 【参考】主な想定用途

- オーケストラや有名アーティストなどのコンサート
- 演劇、ミュージカル、バレエなどの大型舞台芸術
- 市民や学校による演奏会
- 全国レベルの大会
- 地域の式典 など

10

## 5 想定スケジュール



- 千葉市基本計画第2次実施計画においては、令和10年度末までに実施設計完了予定としているが、J Rの計画と調整していく必要があるため、今後詳細を整理していく（一般的には、基本設計、実施設計、工事の流れ）
- 本市としては、現市民会館の老朽化が進展している状況等を踏まえ、早期の供用開始を目指していく

14

(データは、市倉秀子氏より頂戴しました)

## 4 整備の方向性



### (4) 新市民会館の機能②

- 300席程度の小ホールでは、市民の活発な文化芸術活動を支える環境整備を目指す

#### 【参考】主な想定用途

- ピアノ、合唱の発表会
- 講演会、研修会 など
- (市民の地域文化活動の場として幅広く使われることを想定)

11

### ◆委員会報告

<社会奉仕委員会より>

田植え事業について

日時⇒ 4月29日(水) 08:00集合

集合場所⇒ 草刈公民館近く